

地域の催しや明るい話題などが
「まい」でしたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



道の駅うずしおまつり



▲見事、鯛を釣りあげました(左)と瓦割りに挑戦(右)

初夏を思わせる陽気となつた4月27日、うず潮を望む道の駅うずしおで「第5回うずしおまつり」が開催されました。

昨年からうず潮の世界自然遺産登録を目指し本格的に動きはじめました。このうず潮を次世代を担う子どもたちに少しでも身近に感じてもらうとうとう今年初のうず潮まつりは子どもを中心に楽しめる内容となりました。

魚釣りではあらかじめ約30本の釣針に鳴門産の鯛やペットボトルが仕掛けられており、子どもたちはその仕掛け

道の駅うずしお

の中から1つを選び、さおに結んで釣り上げていました。

魚つかみ大会では鯛やたこ、鰻などを水槽に放流。合図とともに一斉に子どもたちが水槽に入り、目当ての魚をつかんでいました。最後にはまちなも登場。勢いよく泳ぐはまちな子どもたちは苦戦しました。

そのほかにも特産の瓦を使った瓦割体験や藤棚の下でお茶会、餅つき大会、かき氷早食い競争などたくさんさんのイベントが開催され一日中大いに盛り上がりました。



▲藤棚でのお茶会(左)と魚つかみ大会で大物ゲット(右)

今年も豊漁となりますように

鯉供養

淡路島の夏の味覚の1つにあげられる鯉。今年の鯉の豊漁を祈り5月13日、沼島の西光寺で恒例の鯉供養祭が行われました。

これは沼島と灘地区の観光施設や旅館でつくる「灘・沼島ふるさと会」が主催。今年で22回目となります。

法要では境内に体長約1.2mの鯉5匹が入った水槽が用意され、寺川光信住職によ



▲朗読ひこばえグループの皆さん

これからも『声の広報』をお届けします

朗読ひこばえグループ

朗読ひこばえグループでは「声の広報」の録音機材を新たに購入しました。

同グループは視覚障害者や高齢者向けに広報南あわじを朗読し、録音したテープを送るボランティア活動を昭和57年から行っています。

これまで平成11年に購入した録音機材を使用してきましたが、老朽化したため購入を検討していました。

この度、同ボランティア活動が認められ(財)車両競技公益資金記念財団の助成金を利用して新規購入することができました。

赤松照美代表は「機材が新しくなりうれしい。これからもこの機材を利用して声の広報を届けられるように会員一同頑張っていきたい。また新たに送付を希望する人は連絡してほしい」と話してくれました。

☎ 42・4966
市社会福祉協議会



▲豊漁を祈り鯉を放流する関係者たち

長年の地域貢献に栄誉

旭日双光章を受章 志智宣夫さん



▲志智宣夫さん

春の叙勲が発表され、市商工会長兼県商工会連合会副会長を務める志智宣夫さん(遼が旭日双光章を受章しました。志智さんは旧町の商工会が合併して誕生した市商工会の会長に就任。従来の運営を見直し、業種別部会から目的別

部会へと転換し、各種事業を精力的に行いました。

また兵庫県商工会連合会の事業委員会委員長も務められ、各商工会からの事業を精査し、効果的かつ適正な事業を採択・助成するなどして、それぞれの地域の特産品開発や販路開拓などを実施することができるようになりました。

受章について志智さんは「いろいろな事業と一緒に取り組んでくれた人たちのおかげです」と話してくれました。

近畿大会出場!

南淡中学校野球部

第1回マクドナルドカップ全日本少年軟式野球大会兵庫県予選大会が5月3〜5日の日程で開催され、南淡中学校野球部が準優勝しました。野球部監督の飯塚良太先生は「3年生にとっては最後の試合。近畿大会という大きな舞台で、自分たちの力を存分に発揮したい」と話してくれました。



▲準優勝した南淡中学校野球部員

創立30周年記念モノUMENTお披露目式

南淡中学校



▲30周年記念モノUMENT「絆」と記念撮影

南淡中学校の創立30周年を記念して、南淡ライオンズクラブから体育館前の中庭に記念モノUMENTが寄贈され、お披露目式が創立記念日の5月1日、関係者や同中学校生徒会役員が出席して行われました。

同校は旧南淡町の5つの中学校(賀集、福良、北阿万、阿万、灘)が昭和58年4月1日に統合。校訓「自立・創造・感謝」が制定された5月1日を創立記念日としています。

緑色の阿波石で制作された

モノUMENTは、大小2つの輪を1本の石積みでつなぐ形となっており、「絆」と名付けられました。

式で生徒会長の堀川弥来さんは「30年間に渡って先輩が築いた伝統を継承しながら、私たちの新たな文化を築いていきたい」と今回の寄贈に対してお礼のあいさつをしました。

同クラブのメンバーで作者の北川雅佳さんは「先生と生徒、先輩と後輩、友達の絆を大小2つの石積みでデザインした」と話していました。

モノUMENTとともに新しい文化がスタートします。

三原中学校吹奏楽部と淡路吹奏楽団が交流

ジョイントコンサートを開催

三原中学校吹奏楽部と淡路吹奏楽団が4月27日、同校の体育館でジョイントコンサートを開催して交流しました。

同校吹奏楽部は、昨年度夏のコンクールでは県代表として関西大会にも出場した実力のある部です。また、淡路吹奏楽団は昭和51年に結成された島内では一番歴史のある楽団で、定期演奏会を中心に、毎年春には地元学校の吹奏楽部とジョイントコンサートを開催する

など、多くの人たちと一緒に演奏を楽しむ幅広い活動を続けています。この春同校を卒業したOBも今回、楽団に加わって演奏を楽しみ、「先輩の演奏を聴いて、また一緒に演奏したいと思った」と感想を伝えるなど交流が和やかに行われました。

第1部と2部は学校、楽団がそれぞれ演奏し、第3部は合同演奏を披露。皆がよく知る曲目を軽快な迫力のある演奏で会場を沸かせました。



▲三原中学校体育館で行われたジョイントコンサート(4月27日)